

令和6年度第2回初級講習会



報告



令和6年度、第2回初級講習会を、11月20日(水)～11月29日(金)の6日間で開催しました。各先生方からは援助の現場ですぐに役立つ内容をご講義いただき、充実した講習会になりました。参加者は、講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身に付けようと熱心に受講されました。

講習会の様子



保育のこころ

松山市こども家庭部 保育・幼稚園課
岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

乳幼児期の発育とかかわりについて、年齢ごとの発達状況や対応の方法について詳しく教えていただきました。また、起こりやすい事故とその予防方法を学びました。

【受講者の声】

・発達段階に応じて細やかな関わりが必要だと思いました。乳幼児の関わり方で思春期にも響いてくるということで、ずっと繋がって成長していくことが理解できました。甘えさせると甘やかすの違いは勉強になりました。

子どもの遊び

松山市こども家庭部 保育・幼稚園課
岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

子どもの成長に合わせた遊びの紹介や、牛乳パックや新聞紙などの身近にある物で簡単に作れて楽しく遊べるおもちゃの制作実習等を行いました。

【受講者の声】

・安全に配慮した遊び方が第一で、おもちゃの大きさ、質感、選び方を教わりました。子どもを遊ばせるだけでなく、一緒に歌ったり作ったりして遊ぶことの大切さを学びました。

子どもの心の発達とその問題！

えひめ子育てサポートラボほっこりん
主宰 玉井 利江 先生

子どもの心の発達段階に合った効果的な関わり方として、効果的なコミュニケーションや「肯定的な注目」としてほめて認めることなど、接し方の基本や対人援助で大切にすること等学びました。

【受講者の声】

・子どもも人間対人間として接することが大事だと思いました。見守ることの大切さ、認めてあげることの必要性が分かりました。出来ていることに目を向ける関わり方をしていきたいと思いました。

子どもの心の発達とその問題 II

児童発達支援センターあゆみ学園

児童発達支援管理責任者 今村 高博 先生

発達障がいの特性・自閉症の3大特性、また2次障がいについて詳しく説明していただきました。関わる大人がいろいろな特性を持つ子がいることを知ることや、関わり方や伝え方についても実例を交えて具体的に教わりました。

【受講者の声】

・近年、自閉症や発達障害という言葉をよく聞くようになり、私たちの関わり方次第で、できるサポートはたくさんあることが、事例を交えてよく分かりました。もっと深く理解する、推測する、広い視野を持って関わる事が大切だと感じました。

身体の発育と病気

石丸小児科

院長 中野 省三 先生

子どもの発育（成長・発達）と子どもの罹りやすい病気について、対処法も含め詳しく教えていただきました。また感染症やアレルギー疾患についてもお話いただきました。

【受講者の声】

・子どもの罹りやすい病気の中でも、大丈夫な症状、緊急を要する症状の見極めと判断が大切だと実感しました。医師より講習していただき、専門の知識を知ることができ大変勉強になりました。

子どもの世話

河原学園 人間環境大学

松山看護学部看護学科 准教授 星田 ゆかり 先生

子どもの呼吸・脈拍・体温調節機能・消化機能・排泄機能・脱水・免疫機能・神経系の発達・睡眠・清潔について詳しく学ぶことができました。また子どもを預かる上での注意点を分かりやすくご講義いただきました。

【受講者の声】

・子どもの生理機能について幅広く知ることができました。お子さんを預かる際、情報を得ていることの重要性や年齢に応じた身体特徴を知っておくことが大事だと改めて認識しました。

看護の基礎知識

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課 福祉係長 鶴久森 陽子 先生

「子どもに多い事故と予防」について、屋外や室内で事故の誘因になる場所やものについて、また事故の予防についてご講義いただきました。子どもの気になる症状や手当では、バンダナやストッキングを使用した応急処置の方法を学びました。

【受講者の声】

・私たち大人が日常何気に過ごしている環境に、なんと危険が多く潜んでいるのか驚きました。やはり、大人の注意・予防の意識向上が重要だと思いました。いろいろな知識を学ぶことができました。

安全・事故・救命講習

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課 係長 有馬 三貴 先生

一時救命処置（心肺蘇生）の方法を、実際に人形や AED を使用し実習を行いました。胸骨圧迫では成人と小児（未就学児）の仕方の違いや気道確保、異物除去の方法を教わりました。

【受講者の声】

・何かが起こった時の対応の方法を分かりやすく説明していただきました。胸骨圧迫や AED の使用方法、乳幼児の救命の手技を実践と共に学ぶことができ、その場に居合わせた時に、一歩踏み出す勇気を持ちたいと思いました。

子どもの栄養と食生

株式会社 ヘルシープラネット
管理栄養士 今川 弥生 先生

子どもの栄養と食生活について、離乳食から幼児期の食生活や生理的特徴と発育・発達について、エピソードを交え詳しくご講義いただきました。「食事はバランスよく楽しく食べる」こと等、子どもの食育の大切さを学びました。

【受講者の声】

・子どもにとって食生活、栄養がその後の人生に大きく影響することが良く分かり、大切にしたいと思いました。栄養については今後、自分の生活にも取り入れて生活していこうと思います。

事業を円滑に進めるために（修了式）

まつやまファミリー・サポート・センター
アドバイザー

ファミリー・サポート・センターの意義と役割について、また援助活動のしくみと事務処理について説明を行いました。その後、井藤館長の終講挨拶のあと会員証を交付し、参加者は今後の援助活動に対する希望にあふれていました。

【受講者の声】

・講習会資料を基に、細かく説明してもらい良く分かりました。やはりお子さんを預かることの責任を感じています。実際にスムーズにできるか不安ですが、少しでも役に立てればと思います。



参加者

6日間 10講座 延べ 142人

提供会員資格取得者

13名

熱心にご受講いただきありがとうございました

